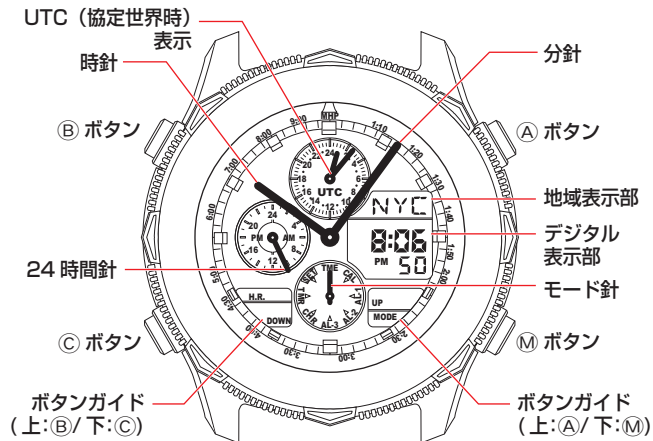


C300 簡易操作ガイド

・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  C300 取扱説明書

各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。

デジタル表示の時刻を合わせる

・アナログ表示の時刻 (時計針 / 分針 / 24 時間針)、UTC 表示は、デジタル表示の時刻と連動します。

1. (M) ボタンをくり返し押して、モード針が「TME」を指すようにする

・デジタル表示部が、針に隠れて見えにくいときは、(B) ボタンを 2 秒間以上押して、針を一時的に 12 時の位置に移動させることができます。もう一度 (B) ボタンを押すと戻ります。

2. (A) ボタンまたは (C) ボタンをくり返し押して、地域表示部に「TYO」を表示させる

・「TYO」以外を選んだときは、現地の時刻に合わせます。

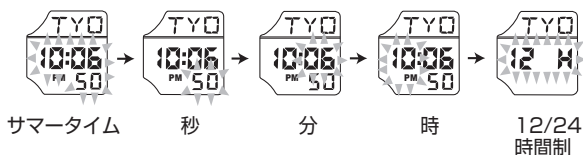
3. (M) ボタンを引き出す

デジタル表示部が点滅します。

・点滅している部分が、時刻合わせの対象です。

4. (A) ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ

・(A) ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



5. (C) ボタンを押して合わせる

選んだ対象の表示が変わります。

・「秒」を選んでいるとき: 時報に合わせて (C) ボタンを押します。

・「分」 / 「時」を選んでいるとき: (C) ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

・12 時間制表示では、「AM」または「PM」が表示されます。

6. 手順 4、5 をくり返し、他の対象を合わせる

7. (M) ボタンを押し込んで終了する

カレンダーを合わせる

この時計のカレンダーは、うるう年を含む 2099 年 12 月 31 日まで、修正不要です。(パーペチュアルカレンダー)

1. (M) ボタンをくり返し押して、モード針が「CAL」を指すようにする

デジタル表示部にカレンダーが表示されます。

・デジタル表示部が、針に隠れて見えにくいときは、(B) ボタンを 2 秒間以上押して、針を一時的に 12 時の位置に移動させることができます。もう一度 (B) ボタンを押すと戻ります。

2. (A) ボタンまたは (C) ボタンをくり返し押して、地域表示部に「TYO」を表示させる

・「TYO」以外を選んだときは、現地のカレンダーに合わせます。

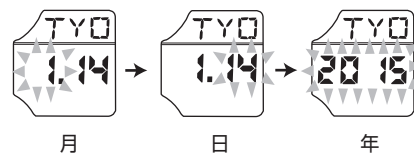
3. (M) ボタンを引き出す

デジタル表示部が点滅します。

・点滅している部分が、カレンダー合わせの対象です。

4. (A) ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ

・(A) ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



5. (C) ボタンを押して合わせる

選んだ対象の表示が変わります。

・(C) ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

6. 手順 4、5 をくり返し、他の対象を合わせる

7. (M) ボタンを押し込んで終了する

・曜日は自動で設定されます。

アナログの時刻とデジタルの時刻を入れ替える

1. (M) ボタンをくり返し押して、モード針が「TME」または「CAL」を指すようにする

2. (A) ボタンと (C) ボタンを同時に押す

デジタル表示部の時刻とアナログ表示の時刻 (時計針 / 分針 / 24 時間針) が入れ替わります。

ワールドタイムを使う

- ① ④ ボタンをくり返し押して、モード針が「TME」または「CAL」を指すようにする
 - ・「CAL」を選んだときは、カレンダー表示になります。
- ② ① ボタンまたは ③ ボタンを押して、地域を選ぶ
選んだ地域の時刻またはカレンダーが、デジタル表示部に表示されます。

地域一覧

略称	代表地域	時差	略称	代表地域	時差
UTC	協定世界時	0	TYO	東京	+9
LON	ロンドン		SYD	シドニー	+10
PAR	パリ		NOU	ヌーメア	+11
ROM	ローマ	+1	AKL	オークランド	+12
CAI	カイロ		HNL	ホノルル	-10
IST	イスタンブール	+2	ANC	アンカレジ	-9
MOW	モスクワ		LAX	ロサンゼルス	-8
KWI	クウェート	+3	DEN	デンバー	-7
DXB	ドバイ		CHI	シカゴ	-6
KHI	カラチ	+5	MEX	メキシコシティ	
DEL	ニューデリー	+5.5	NYC	ニューヨーク	-5
DAC	ダッカ	+6	YUL	モントリオール	
BKK	バンコク	+7	CCS	カラカス	-4
SIN	シンガポール		RIO	リオデジャネイロ	-3
HKG	香港	+8	BUE	ブエノスアイレス	
PEK	北京				

- ・一覧表の時差は、UTC（協定世界時）からの時差です。
- ・時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。

サマータイムを表示させる

ワールドタイムの地域ごとにサマータイムを表示させることができます。

「デジタル表示の時刻を合わせる」の手順 2 で地域を選び、手順 5 で、「SUMMER」を表示させます。

- ・地域として「UTC」を選ばると、サマータイムを表示させることはできません。
- ・サマータイムを表示させないときは、同じ手順で、「SUMMER」の表示を消します。



表示する地域を設定する

表示される地域名をスキップさせることができます。

- ① ④ ボタンをくり返し押して、モード針が「SET」を指すようにする
- ② ④ ボタンを引き出す
デジタル表示部が点滅します。
- ③ ① ボタンをくり返し押して、地域を選ぶ
- ④ ② ボタンを押して設定する



SET:
地域が表示
されます。



OFF:
地域が表示され
ません。

- ・② ボタンを押すごとに、「SET」と「OFF」が切り替わります。
- ・④ ボタンを押すと、サマータイムの設定 (ON/OFF (OF)) を切り替えることができます。

5. 手順 3、4 をくり返し、他の地域を設定する

6. ④ ボタンを押して終了する

- ・モードを「TME」または「CAL」にします。

アラームを使う

地域の時刻に合わせてアラーム音が鳴ります。

- ・アラームは「AL-1」、「AL-2」、「AL-3」にそれぞれ設定することができます。

- ① ④ ボタンをくり返し押して、モード針が「AL-1」、「AL-2」または「AL-3」を指すようにする
現在設定されている地域とアラーム時刻が表示されます。
 - ・デジタル表示部が、針に隠れて見えにくいときは、② ボタンを 2 秒間以上押して、針を一時的に 12 時の位置に移動させることができます。もう一度 ② ボタンを押すと戻ります。

2. ① ボタンまたは ③ ボタンを押して、地域を選ぶ

3. ④ ボタンを引き出す

デジタル表示部が点滅します。

- ・点滅している部分が、アラーム設定の対象です。

4. ① ボタンをくり返し押して、設定する対象を選ぶ

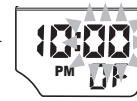
- ・① ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



アラーム ON/
OFF (OF)



アラーム時



アラーム分

5. ③ ボタンを押して設定する

- ・「ON」/「OF」を選んでいるとき：③ ボタンを押すごとに切り替わります。
- ・「時」/「分」を選んでいるとき：③ ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

6. 手順 4、5 をくり返し、他の対象を設定する

7. ④ ボタンを押して終了する

- ・モードを「TME」または「CAL」にします。

アラーム音をとめるときは

いずれかのボタンを押します。

- ・アラーム音は、15 秒間鳴ります。

クロノグラフを使う

1/100 秒単位、最大 24 時間まで計測できます。

- ・他のモードに切り替えても計測は継続されます。

1. ④ ボタンをくり返し押して、モード針が「CHR」を指すようにする

デジタル表示部に、クロノグラフが表示されます。

- ・デジタル表示部が、針に隠れて見えにくいときは、② ボタンを 2 秒間以上押して、針を一時的に 12 時の位置に移動させることができます。もう一度 ② ボタンを押すと戻ります。

2. クロノグラフを使う

スタート/ストップ：① ボタンを押します。

- ・計測中に ③ ボタンを押すと、経過時間（スプリットタイム）が 10 秒間表示され、「SPLIT」が点滅します。
- ・計測時間の「時」は地域表示部に表示されます。

リセット：ストップ中に、④ ボタンを押します。

- ・クロノグラフ終了後は、必ずリセットを行い、モードを「TME」にします。

タイマーを使う

- 1 分単位、最大 60 分のタイマーを設定することができます。
- 他のモードに切り替えてもタイマーは継続されます。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モード針が「TMR」を指すようにする

地域表示部とデジタル表示部に、タイマーが表示されます。

- デジタル表示部が、針に隠れて見えにくいときは、**B** ボタンを 2 秒間以上押して、針を一時的に 12 時の位置に移動させることができます。もう一度 **B** ボタンを押すと戻ります。

2. **M** ボタンを引き出す

デジタル表示部で動作中のタイマーが停止し、地域表示部が点滅します。

3. **C** ボタンを押して、タイマーの時間を設定する

- **C** ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

4. **M** ボタンを押し込む

5. **A** ボタンを押す

タイマーのカウントダウンが始まります。

スタート/ストップ：**A** ボタンを押します。

- タイマー作動中に **C** ボタンを押すと、設定した時間から改めてカウントダウンを始めます。

リセット：ストップ中に、**C** ボタンを押します。

設定時間が過ぎると

タイムアップ音が 5 秒間鳴ります。

音を止めるには、いずれかのボタンを押します。

- タイマー終了後は、モードを「TME」にします。

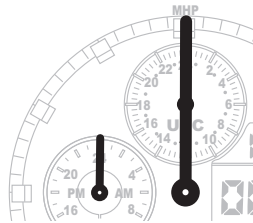
針の基準位置を修正する

1. **M** ボタンをくり返し押して、モード針が「CHR」を指すようにする

2. **M** ボタンを引き出す

UTC 表示、24 時間針、時針と分針が、現在の基準位置に移動します。

正しい基準位置：
すべての針が 12 時の位置



3. **B** ボタンをくり返し押して、修正する対象を選ぶ

- **B** ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わり、地域表示部に表示されます。

「UTC」(UTC 表示) → 「HR」(時針・24 時間針) → 「MIN」(分針) → (始めに戻る)

4. **A** ボタンまたは **C** ボタンを押して、修正する

- ボタンを押し続けると、針が連続して回転します。

5. 手順 3、4 をくり返し、他の対象を修正する

6. **M** ボタンを押し込んで終了する

基準位置を修正したあとは

時刻を合わせてください。

オールリセットを行う

- 動作中のクロノグラフやタイマーはリセットされます。

1. **M** ボタンを引き出す

2. **A**、**B**、**C** ボタンを同時に押す

ボタンを離すと、液晶表示がすべて点灯します。

- 次の手順から、針の基準位置の修正をします。

3. **B** ボタンを押す

地域表示部に「UTC」と表示されて、針の基準位置が修正できるようになります。

正しい基準位置：すべての針が 12 時の位置

4. **B** ボタンをくり返し押して、修正する対象を選ぶ

- **B** ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わり、地域表示部に表示されます。

「UTC」(UTC 表示) → 「HR」(時針・24 時間針) → 「MIN」(分針) → (始めに戻る)

5. **A** ボタンまたは **C** ボタンを押して、修正する

- ボタンを押し続けると、針が連続して回転します。

6. 手順 4、5 をくり返し、他の対象を修正する

7. **M** ボタンを押し込んで終了する

- 確認音が鳴ります。

オールリセットのあとは

時刻合わせ、カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。